

[事前評価]

課題名 ランドレース種系統造成試験 (平成 29～36 年度)

【課題の概要】

本県産銘柄豚をはじめとする優良な三元交雑豚を安定的に生産するため、ローズ L-3 の後継豚となる優秀なランドレース種新系統豚の造成を行う。

アンケートや検討会を実施し、県内養豚農家や畜産関係者の意見を参考にした的確な改良目標を設定する。設定した目標に応じ、改良に有効な基礎豚・精液の導入を行い、雄 10 頭、雌 40 頭規模で閉鎖群による系統造成を行う。

完成した新系統豚は県内農家への供給を行う。より多くの高品質豚肉の生産を可能にするとともに、農家の経営改善も期待できる。

【評価結果】 (評価委員数 4 名)

○各項目の評価 (各評価委員の平均点)

研究の必要性・重要性	期待される成果・貢献	既往研究等との関連性	創造性・独創性	研究目標の妥当性	研究方法の妥当性	合計点
4.8	5.0	4.8	4.3	4.8	4.8	28.5

○総合評価 A : 採択

(A : 採択 B : 計画を見直し採択 C : 不採択)

【委員の意見助言と対応策】

評価項目	意見・助言	対応策
研究の必要性・重要性	・ローズL-3後継豚造成の要望は大きい。造成では他県・他機関との違いを明瞭にした方が良い	・目標設定の際に県内養豚農家の意見も参考に経営改善に有効な改良目標を設定し、県内で求められている系統豚の作出を行う。
期待される成果・貢献	・経営改善に効果の高い生産性に優れたランドレース種を安定的に供給することで、高品質な豚肉の安定生産に寄与できる。	・生産性に優れたランドレース種新系統豚の安定供給によって、県内銘柄豚肉をはじめとした高品質豚肉の安定生産に寄与する。
既往研究等との関連性	・国内外の文献・データベースを調査している。しかし、経営改善効果の高い改良形質等については十分絞り込まれておらず、検討を行い推進する必要がある。	・系統造成における改良目標で経営改善効果の高い項目が何であるかは確立されていないので、十分な検討を行い、系統造成を開始する。
創造性・独創性	・系統造成の手法自体はルーチンの方法であり、研究としての独創性が高いとはいえない。	・まだ確立されていない経営改善に有効な改良目標(子豚の生産性向上)の検討を行う。
研究目標の妥当性	・子豚の生産性に優れた、新たな系統豚の造成を目標としており、適切であるが、子豚の生産性を産子数にすると小型化して疾病損耗率が高くなる。評価項目については検証が必要。	・新系統豚に求められている形質とそれによって生じるリスクについて慎重に検討し、関係機関や有識者等に意見を聞きながら最適な目標の設定を行う。
研究方法の妥当性	・具体的な選抜指標が未定のようなので、評価項目を早く設定して進めるべき。	・アンケート調査や養豚農家、畜産関係者及び有識者と共に検討会を行い、具体的な改良目標を決定する。
総合評価	・新ブランド豚の生産に貢献できるような系統豚を造成して、低コスト高品質な豚肉生産に繋げてほしい。	・県内養豚農家の経営改善に効果の高いランドレース系統豚の造成により、低コスト高品質な豚肉生産に繋げたい。